



ご協力お願いします！



安城市マスコットキャラクター
「サルピー」

地震対策に関する市民アンケート

《アンケートのお願い》

平素は、安城市的市政運営にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、安城市では地震防災・減災に関する総合的かつ計画的な施策を推進するため、平成29年3月に「地震対策アクションプラン」を策定し、住宅及び公共施設の耐震化や家庭内備蓄の推進など、様々な対策に取り組んでまいりました。地震対策アクションプランの策定から7年が経過しましたので、改めて現状を把握し、前回実施したアンケートとの比較分析などを行い、今後の取り組みに活用していくため、アンケートを行います。

アンケートの趣旨にご賛同いただき、ご協力くださいますようよろしくお願ひ申し上げます。

- ・このアンケートは、市内にお住まいの満18歳以上の方の中から、無作為に3,000人を選ばせていただきました。
- ・無作為抽出していますので、市からのアンケートのお願いが連続することがあります。ご容赦ください。
- ・アンケートは無記名とし、ご回答いただきました内容については、調査目的以外に利用することはございません。
- ・アンケートの集計結果は、市公式ウェブサイト（ホームページ）で公表させていただきます。

令和5年10月5日 安城市 市民生活部 危機管理課 危機管理係
連絡先 TEL: 0566-71-2220/FAX: 0566-71-2295

《ご記入にあたって》

- ・設問は全部で27問です。（所要時間は20分程度です）
- ・回答方法は、本調査票にご記入の上、11月10日（金）までに同封の返信用封筒（切手不要）にてご返送いただくか、回答用ウェブサイトからご回答ください。

※回答用ウェブサイト

URL: https://www.shinsei.e-aichi.jp/city-anjo-aichi-u/offer/offerList_detail?tempSeq=82127

- ・あてはまる項目に✓印（または具体的な内容）をご記入ください。
- ・封筒の宛名のご本人様がお答えください。ご本人様の記入が困難な場合は、身近な方が、ご本人様のお考えや実態を聞きながら代筆をしていただいて結構です。
- ・ありのままの考え方、状況をお答えください。
- ・本調査票に記入される場合は、鉛筆または黒のボールペンをご使用ください。



QRコード

1 あなた自身について

問1 該当するものを選んでください。(各質問につき回答は1つ)

1 性別 (統計上必要となりますので、戸籍上の性別をご記入ください。)

男性 女性 回答しない

2 年齢 (令和5年10月1日現在)

10歳代 20歳代 30歳代 40歳代
 50歳代 60歳代 70歳代 80歳以上

3 お住まいの地区

(中学校区がわからない場合は、封筒のあて名シールをご参照ください。)

安城南中学校区 安城北中学校区 明祥中学校区
 安城西中学校区 桜井中学校区 東山中学校区
 安祥中学校区 篠目中学校区

4 お住まい

持ち家の一戸建て住宅 賃貸の一戸建て住宅
 持ち家の共同住宅 賃貸の共同住宅
 その他 ()

5 お住まいの建築時期

1981年(昭和56年)5月以前(新耐震基準以前)
 1981年(昭和56年)6月以後(新耐震基準以後)
 わからない

6 安城市での居住年数(通算年数でお答えください。)

1年未満
 1年以上5年未満
 5年以上10年未満
 10年以上20年未満
 20年以上

7 家族形態

単独世帯
 核家族世帯(夫婦のみの世帯、夫婦と子のみの世帯)
 三世代世帯
 その他()

2 大地震への関心と不安について

問2 三河地震^{※1}、昭和東南海地震^{※2}など安城市周辺で過去に起こった大地震のことをご存知ですか。(回答は1つ)

- 知っている
- 地震があったことを知っているが、詳しく知らない
- 知らない

※1 三河地震（昭和20年1月13日） 安城市内：死者数396人、重傷者数618人

※2 昭和東南海地震（昭和19年12月7日） 旧安城町内：死者数1人、重傷者数5人

問3 南海トラフ地震^{*}が100～150年の周期で繰り返し発生しており、前回の発生から70年以上が経過していることをご存じですか。(回答は1つ)

- 知っている
- 聞いたことはあるが、詳しく知らない
- 知らない

※ 南海トラフ地震：駿河湾から日向灘沖にかけてのプレート境界を震源域として繰り返し発生してきた大規模地震

問4 南海トラフ地震が発生したときの安市の想定震度^{※1}や被害想定^{※2}をご存じですか。(回答は1つ)

- 知っている
- 地震ハザードマップを見たことはあるが、詳しく知らない
- 知らない

※1 想定震度：市内のほとんどの地域で震度6強以上の揺れが予測されています。

※2 被害想定：南海トラフで発生する恐れのある最大クラスの地震・津波が発生した場合に、死者740人、建物は約4割が全壊・焼失・半壊すると予測されています。

問5 「南海トラフ地震臨時情報^{*}」をご存知ですか。(回答は1つ)

- 知っている
- 聞いたことはあるが、詳しく知らない
- 知らない

※ 南海トラフ地震臨時情報：南海トラフ沿いで異常な現象が観測された場合や南海トラフ地震の発生が相対的に高まっていると評価された場合などに発表される情報

問6 大地震が起きたときにあなたが心配になることは何ですか。(回答は5つまで)

- 自宅の倒壊や損壊
- 近隣の建物の倒壊
- 自宅周辺の液状化※や地盤沈下
- 堤防沈下による浸水
- 自宅の火災
- 近隣火災による延焼
- 電気、ガス、水道、通信などの停止
- 道路や鉄道の被害による帰宅困難や交通への影響
- 家族の安否（確認の可否を含む）
- 誤情報などによる混乱
- 家具などの転倒
- ブロック塀の倒壊や落下物による危険
- 食料、水、日用品、医薬品の確保
- ガソリンや灯油などの燃料不足
- 医療体制の混乱
- 避難先の確保や避難先への移動
- 災害弱者への支援など助け合いの有無
- 治安の悪化
- 避難所生活による環境の変化
- トイレや下水道が使えなくなることによる公衆衛生の悪化
- 震災廃棄物（ごみ、がれき）の処理
- ペットの避難
- 仕事や事業への影響
- 特に心配なことはない
- その他（ ）

※ 液状化：地震が発生し地盤が強い衝撃を受けると、今まで互いに接して支えあっていた土の粒子がバラバラになり、地盤全体が液体のような状態になる現象

3 地震への備えについて

問7 非常持ち出し品を準備していますか。(回答は1つ)

- 準備している
- 準備していない
- わからない

問8 食料や水を備蓄していますか。(回答は1つ)

- している（問9へ）
- していない（問10へ）
- わからない（問10へ）

問9 問8で「している」と回答された方にお聞きします。ご自宅に災害用として備蓄している食料*と水*は何日分ですか。(各質問につき回答は1つ)

【食料】(1人あたり1日3食で計算してください。)

1週間以上 5~6日程度 3~4日程度 1~2日程度
 1日未満

【水】(1人あたり1日3リットルで計算してください。)

1週間以上 5~6日程度 3~4日程度 1~2日程度
 1日未満

※ 安城市では、1人あたり最低3日分、できれば1週間分以上の食料や水を備蓄するようお願いしています。

問10 携帯トイレ(便袋)※や簡易トイレを準備していますか。(回答は1つ)

準備している 準備していない わからない

※ 安城市では、1人あたり1日5回排泄することを想定し、最低3日分、できれば1週間分以上の携帯トイレ(便袋)の備蓄をお願いしています。

問11 ペットの避難に必要な備蓄品*を準備していますか。(回答は1つ)

準備している 準備していない ペットは飼っていない
 わからない

※ ペットの避難に必要な備蓄品：ペットフード、食器、ケージ、首輪・リード、トイレ用品、おもちゃなど

問12 感震ブレーカー*を設置していますか。(回答は1つ)

設置している(問14へ) 設置していない(問13へ)
 わからない(問14へ)

※ 感震ブレーカー：地震による通電火災を防ぐため、設定値以上の揺れを感じた場合に自動的にブレーカーを落とし、屋内への電気を止める器具

問13 問12で「設置していない」と回答された方にお聞きします。感震ブレーカーを設置していない理由は何ですか。(回答は1つ)

- 賃貸住宅であるから
- 感震ブレーカーを知らない
- 費用がかかるから（金額がわからない）
- 誰に頼んでよいか（どこで買えばよいか）わからないから
- どの製品が良いかわからないから
- 大きな地震が起きると思わないから
- 必要性を感じないから
- 設置しようと思っているが先延ばしにしているから
- その他（ ）

問14 家具などの固定や転倒防止対策を行っていますか。(回答は1つ)

- 全ての家具などで行っている（問16へ）
- 一部の家具などで行っている（問16へ）
- 行っていない（問15へ）
- わからない（問16へ）

問15 問14で「行っていない」と回答された方にお聞きします。転倒防止対策を行っていない理由は何ですか。(回答は1つ)

- 賃貸住宅であるから
- 手間がかかるから
- 固定の方法が分からぬから（自分で作業ができないから）
- 費用がかかるから
- 部屋や家具を傷つけるから
- 家具などの無い安全な部屋があるから
- 作りつけの家具だから
- 大きな地震が起きるとは思わないから
- 必要性を感じないから（固定しても被害は出ると思うから）
- 対策をしようと思っているが先延ばしにしているから
- その他（ ）

問16 自宅は耐震診断や耐震改修を行っていますか。(回答は1つ)

（1981年（昭和56年）6月以降の建物は、新耐震基準に適合しているため、「行っている」に回答してください。）

- 行っている（問18へ）
- 行っていない（問17へ）
- わからない（問18へ）

問17 問16で「行っていない」と回答された方にお聞きします。耐震診断などを行っていない理由は何ですか。(回答は1つ)

- 賃貸住宅であるから
- 耐震診断や耐震改修を知らない
- 費用がかかるから
- 誰に頼んでよいかわからないから
- 手続きや手配などが面倒であるから
- 大きな地震が起きるとは思わないから
- 必要性を感じないから
- その他 ()

4 大地震発生時の行動について

問18 大地震が発生したときに安城市からの情報を入手するために使用する手段は何ですか。(複数回答可)

- テレビ（地域のケーブルテレビを含む）
- 市防災ラジオ
- 市公式ウェブサイト（ホームページ）
- 市公式SNS（LINE、X（旧Twitter））
- 市公式SNS以外のSNS
- 安城市防災行政アプリ*
- 防災アプリ（Yahoo！防災速報など）
- その他 ()

* 安城市防災行政アプリ：ハザードマップを含む様々な防災情報を閲覧できるほか、気象情報や地震情報、避難情報など災害時に役立つ情報を配信している市公式の防災アプリ

問 19 大地震が発生した場合に安城市からどのような情報が配信されるとよいですか。

(複数回答可)

- 地震や津波の発生に関する情報
- 危険箇所の情報
- 安城市的被害状況
- 道路の通行止め情報
- 鉄道・バスなどの運行情報
- ライフライン(水道・電気・ガスなど)の被害情報及び復旧情報
- 避難所の開設情報
- 避難所の混雑状況
- 施設の休館情報
- 小中学校の開校・休校情報及び保育園、こども園の開園・休園情報
- 児童クラブの開所・閉所情報
- 医療救護所※の開設情報や救急患者を受入れできる医療機関の情報
- 被災者支援に関する情報
- 物資の配給に関する情報
- その他 ()

※ 医療救護所：けがの症状に合わせて、応急処置または手当てなどを行う場所

問 20 大地震が発生した場合にどこで避難生活を送りますか。(各質問につき回答は1つ)

1 自宅が半壊または一部損壊した場合

- 指定避難所※
- 親せき・知人宅
- ホテル・旅館
- 車の中
- 自宅
- その他 ()

2 自宅が全壊した場合

- 指定避難所※
- 親せき・知人宅
- ホテル・旅館
- 車の中
- その他 ()

3 水・電気・ガスなどが使用できない場合(自宅に被害なし)

- 指定避難所※
- 親せき・知人宅
- ホテル・旅館
- 車の中
- 自宅
- その他 ()

※ 指定避難所：災害の危険に伴い避難をしてきた被災者などが一定期間滞在するために使用する施設。安城市的場合は、公民館や小中学校などが指定避難所になります。

問 21 問 20 のいずれかの質問で「指定避難所」以外を回答された方にお聞きします。その回答を選んだ理由は何ですか。(複数回答可)

- 感染症が怖いから
- プライバシーを確保したいから
- 集団生活が苦手だから（集団生活にストレスを感じるから）
- 乳幼児がいるから
- 介護が必要な家族がいるから
- ペットがいるから
- その他（ ）

問 22 勤務先や通学先で災害が発生し、公共交通機関が停止した場合の対応を教えてください。(回答は 1 つ)

- 特に影響ない（公共交通機関を利用していない場合を含む）
- 徒歩で帰宅する
- 指定避難所や臨時避難所※を利用する
- 勤務先や学校で宿泊する
- 親せき・知人宅に宿泊する
- ホテルや旅館に宿泊する
- 駅で待機する
- 特に決めていない
- その他（ ）

※ 臨時避難所：安城市との協定に基づき、帰宅困難者や避難者を臨時的に受け入れるために使用する民間施設など

5 その他について

問 23 過去 1 年間に参加したことがある防災活動を教えてください。(複数回答可)

- 安城市が行う総合防災訓練
- 自主防災組織（町内会）やマンション管理組合が行う防災訓練
- 職場や学校の防災訓練
- 防災マップの作成や地区防災計画※のワークショップ
- 防災に関する研修や講演会
- 防災に関するイベント
- 消防団活動
- 被災地でのボランティア活動
- いずれにも参加したことはない
- その他（ ）

※ 地区防災計画：災害時における地区の不安や課題を解消するため、居住者などが主体となり作成する防災計画

問24 安城市が実施する地震対策の制度や施策のうち、該当するものを選んでください。
(複数回答可)

- 「安城市地震ハザードマップ」を見たことがある
- 「安城市徒歩帰宅支援マップ」を見たことがある
- 「安城市総合防災訓練」を知っている
- 「防災ラジオ」を知っている
- 「安城市防災行政アプリ」を知っている
- 「木造住宅の無料耐震診断」「木造住宅耐震改修費補助制度」を知っている
- 「非木造住宅の耐震診断・改修設計・改修工事費補助制度」を知っている
- 「住宅の耐震改修に係る固定資産税の減額措置」を知っている
- 「ブロック塀等撤去費補助」「生垣等設置奨励補助金制度」を知っている
- ひとり暮らし高齢者や障害者世帯に対する「家具転倒防止器具取付事業」や
「住宅用火災警報器の給付」を知っている
- 「感震ブレーカー設置補助金制度」を知っている
- 「避難行動要支援者支援制度^{※1}」を知っている
- 「安城市災害支援制度^{※2}」を知っている
- 大規模災害時には市内5カ所に医療救護所が設置されることを知っている

※1 避難行動要支援者支援制度：災害時に高齢者や障害のある方などが安全に避難
できるよう支援する制度

※2 安城市災害支援制度：被害の状況に応じて受けることができる補助制度

問25 令和5年4月1日から運用を開始している市公式の防災アプリ「安城市防災行政
アプリ」の愛称を投票により決定します。分かりやすく、親しみやすいものを選ん
でください。(回答は1つ)

(詳しくは市公式ウェブサイト

URL：<https://www.city.anjo.aichi.jp/kurasu/bosaibohan/yakudachi/bosaiapp.html> をご確認
ください。)

- あんさい
- あん防
- 安城アラート
- 安城防災ナビ
- 安全城守（あんぜんじょうじゅ）
- 安備ジョン（アンビジョン）



QRコード

問 26 安城市の防災対策として、これからさらに力を入れて取り組んでほしいことは何ですか。（複数回答可）

- 備蓄品や家具転倒防止対策等の自分でできる防災対策の啓発
- 女性目線での防災対策の推進
- 備蓄品のアレルギー対策の推進
- 外国人への災害意識の啓発
- ペットの避難に関する啓発
- 災害ボランティアの育成や災害ボランティア活動への支援
- 防災リーダーや防災士の育成支援
- 自主防災組織や消防団の活動支援
- 地区防災計画や自主防災訓練など地域が主体となる防災活動の支援
- 避難行動要支援者への支援
- 災害時の医療体制の強化
- 総合防災訓練による災害対応力の向上
- 迅速な災害情報・復旧情報の配信
- 近隣自治体や民間企業などとの協力体制の強化
- 避難施設の追加
- 避難所環境の整備（空調の整備、発電機の設置、通信障害対策など）
- 公共施設、橋りょう、上水道施設、下水道施設などの耐震化
- 学校での防災教育の推進
- 防災イベントなどによる防災・減災意識の啓発
- その他

問 27 防災・減災に関するご意見や、効果的と思われる取り組みがありましたら具体的にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

